

2021年 9月じゃおサロン

日時：9月24日（金） 10:00～12:00

場所：オンライン開催（Zoomによるオンライン開催です）

SDGs って何だろう？～SDGs とじゃおクラブの関係～

講師：一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス
喜田 亮子様・杉山 久美子様

概要

SDGs とは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の頭文字をとったものです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されています。

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsは世界中の国々が取り組む普遍的なものであり、日本でも積極的な取り組みが進んでいます。



SDGsとは「将来世代のニーズを損なわずに、現役世代のニーズを満たす開発」のことを言います。SDGsにはあらゆる分野における社会の課題と長期的な視点でのニーズがつまっています。

今回のじゃおサロンでは、SDGsの概要についての講演に加えて、各地域からパネリストを募ってのパネルディスカッション、さらに参加者全員によるオープンディスカッションを通じて「SDGsについての知識を深め、SDGsとじゃおクラブの関係を考えるきっかけ」とします。

町田市地域活動サポートオフィスについて

町田市地域活動サポートオフィスは、2019年に町田市が設立した外郭団体で、町田市を拠点にまちの困りごとに取り組む組織や人のサポートや多様な主体の協働のコーディネートを通じて、地域における課題解決の取り組みの充実、拡大をめざしています。

「よき「伴走者」であり、よき「翻訳者」であること」を価値基準とし、『つくる（立ち上げ支援）』『ささえる（経営支援）』『つなげる（協働支援）』『かえる（変革支援）』の4つのミッションに取り組んでおり、今回はじゃおクラブの組織と事業をサポートする立場から講師をお引き受けいただきました。（担当：多摩・田園 竹内 純一）

事務局だより

1. 会員動向（2021年8月1日現在）

7月退会者 小池 兼一氏(県央)

【湘南】	【県央】	【ベイサイド】	【多摩・田園】	計	
38	30	32	28	128	(Eグループ参加会員 115名)

2. 運営委員会報告

8月は、運営委員会は開催されませんでした。

3. 次回の運営委員会

日時：2021年9月26日（日）10:00～12:00（オンライン開催）

議長：永井委員、書記：福山委員

予定されている主な議題

7月運営委員会での議論に続き、再度、会費値下げに関する各地域じゃおの意見集約を行って、今後の方向性について話し合います。

会員だより

じゃおクラブに入会して

県央 福山 信二

私は、2019年(令和元年)5月に入会しました。会社を退職して今後、どの様に過ごして行こうかと思っておりましたが妻の勧めもあって海老名市の「生きがい発見塾」相談会に行ってみました。そこで、数あるサークル・クラブの中 じゃおクラブの活動に興味をもち1ヶ月間体験させていただいた後正式に会員になりました。

じゃおクラブに入会して、色々な行事に参加させて頂きました。(そば打ち・ミカン園管理・援農・丹沢湖バーベキュー・てくてくウオーク・施設見学・講演・ボランティア活動等) どの行事も楽しく参加出来ました。現在、新型コロナウイルス感染対応で殆どの行事がストップしており残念です。早く終息して再開されることを願っています。

今、令和2年3月より上河内ファームの開園に参加してコロナ禍ではありますが密にならないように気を付けて有志5名で野菜作りをしています。

ジャガイモ・枝豆・トマト・きゅうり・ピーマン・大根等々を作って出来具合を確認し合い次は何を作るかを話し合っています。毎週火曜日の午後が定例活動日です。

じゃおクラブ県央の人達も高齢者が多く体力的に無理はできません。私もいつまでも体力が持つとは思いませんし認知症も心配です。そこでキョウイク（今日行く所）・キョウヨウ（今日の仕事）・とチョキン（筋肉をつける）を心がける事が必要です。その為には、一、十、百、千、万の実行（一日に10人の人に会い、100文字を書き、1000文字を読み、10000歩を歩く）をすると良いと聞きました。皆さんもコロナウィルスの感染に注意しつつ実行してみるのも良いと思います。

じゃおクラブに入会して3年目になりますが今年度よりじゃおクラブの運営委員に選任されました。少しでも皆様のお役に立てればと思っています。宜しくお願いします。

日本の城

湘南 廣崎 龍哉

城は日本の文化財だ。各地に大切に保護され残っていることを、日本人として誇りに思う。

私は、城や城跡を訪れ天守閣を仰ぎ、城跡の野面積の石垣を眺め、往時を想像する。城巡りはいくつかある私の趣味の一つである。日本全国には約 150 の城及び城跡があるが、その中から紙幅の都合もあるので次の十の城を取り上げ紹介する。

五稜郭：函館市の北部、亀田川の東にある。日米和親条約により開港となった函館防備の目的で徳川幕府により築かれた。八年がかりで完成された西洋式城郭。

会津若松城：戊辰戦争の舞台となった。藩主・松平容保のもとで西国諸藩の連合軍を迎え撃ち、一か月の籠城の上開城。藩士の子弟で編成された白虎隊の飯森山での自刃が切ない。

彦根城：徳川幕府の後援で築城された近江彦根藩の井伊家の城。女性領主の直虎の養子・直正が家康に仕えた。歴代徳川の親藩として掃部頭（かもんのかみ）と称し、5人の大老を出し、幕政の中枢を占めた。

岐阜城：岐阜市は 40 歳代に約 5 年間住んだ懐かしい地。清流の長良川に臨み、濃尾平野を一望する金華山がある。頂上に蝮の斎藤道三の居城があり、後に織田信長が手中に収め、岐阜城と改名した。

上田城：智将の誉れ高い真田昌幸の築城になる名城。徳川の大群に二度までも攻撃されながら、ついに落ちることなく真田の上田城の名は天下に鳴り響いた。真田幸村（信繁）は昌幸の次子、大阪城の陣で活躍、夏の陣で戦死。

姫路城：別名を白鷺城という。白鷺のように美しいことから付けられた。「不戦・不焼の城」と言われ、奇跡的に戦火や火災に巻き込まれなかった。豊臣秀吉が浅野長政を奉行として築城した。JR の電車の窓からも遠望される。

大阪城：豊臣秀吉が石山本願寺の旧地にその半生を傾けて築き上げた城。大阪夏の陣で落城、灰燼に帰す。現在の城は二代将軍・徳川秀忠が関西の鎮府として再築した堅城、巨石の使用、石垣の墨壁の高さなど、日本一の規模を誇る。

高知城：関ヶ原の合戦の後、駿河の掛川城の主であった山内一豊が高知に入封。抵抗する旧領主・長宗我部家の家臣団を手荒くねじ伏せ、力の象徴として築かれた城。一豊の妻がへそくりの黄金十両を夫に与え出世させた逸話あり。内助の功の見本。

熊本城：豊臣秀吉の九州征伐により、その家臣・佐々成政を主に迎えたが、成政は失政の責任を問われて、秀吉に切腹を命じられる。その次の城主が秀吉子飼いの加藤清正。

岡城：阿蘇溶岩の台地にある難攻不落の平山城。現在、城はないが穴太衆の手になる見事な野面積の石垣が残っている。城址は滝廉太郎の「荒城の月」の舞台。私も嘗て訪れ、城址から阿蘇連山を一望したことを思い出す。

昨日まで当たり前のように過ごしていた生活が一変しました

ベイスайд 藤井 直敏

私の妻（弘子）は5月末に亡くなりました。

弘子は（妻、カミさん、女房、家内、ワイフ、など色々呼び方はありますが、ここでは名前にします。いつも名前と呼んでいたものですから）2020年4月29日、ゴールデンウィーク初日に、2人で近所に出かけようとしていた時、右手が上手く動かない、上手く話ができないことに気づき、これはおかしいと直ぐに救急車を手配し近くの横浜労災病院の救急センターに搬送されました。

私は症状から『脳梗塞』だと思っていましたが、検査の結果『硬膜下血腫（こうまっかけっしゅ）』（硬膜と脳の間血がたまる病気）と診断され、緊急手術となりました。

これには後日談がありまして、手術から4日後脳神経外科の執刀医から「CT画像を詳しく見たところ、『脳梗塞』が見つかった」と電話がありました。

脳梗塞は発症してから早期に処置をすることが、最も重要とされていますが4日も経過してからでは最悪です。更に悪いことに硬膜下血腫の手術を先にやっているの、血液をさらさらにする点滴が直ぐにはできず、点滴を始めたのは更に5日後になりました。

結局完璧に後遺症は残り最後まで右手を動かすことはできませんでした。

さらに呼吸器内科の医師から電話が有り、「CT画像から肺がんの疑いがあるので説明したい」との電話をいただき説明を受けました。

今の状態はCT検査にたまたま写ってしまった画像だけですから、確定診断をする必要があります。その結果仮にがんだとしても、今の弘子の体力から見て手術（あるいは放射線治療、抗癌剤治療、など）にとっても耐えられるとは思えないため、確定診断も治療も行わないことにしました。

呼吸器内科の先生も理解を示されました。

1回目の入院は22日間でしたが、結局1年間で4回入退院を繰り返しました。

2021年4月13日最後の退院から僅か45日の5月28日夜1時45分、自宅で私が手を握り見守る中、静かに息を引き取りました。涙が溢れて止まりませんでした。

肺がんは亡くなる時苦しむと聞いていましたので心配でしたが、そのようなことは全くなく、正に眠るような旅立ちでした。

先日弘子の写真の整理をしていたところ、小中学校の通知表ができました。クラスでの順位が載っており常に1番か2番で、評価はオール5理科が4の時がある程度です。

結婚後も町内会やPTA役員、400世帯程度の団地に住んだことがあります。その自治会長。その他選挙カーのうぐいす嬢、選挙事務所の手伝い、消防団行事の手伝い、家事介護Wco“絆”設立、等々、地域活動には積極的でした。

字がきれいなためパソコンの時代になっても、会報など「手書きをお願いします」と言われ、手書きしていたことを思い出します。年賀状も長いこと手書きしていました。

脳梗塞で右手が使えなくなり、字が書けなくなったときは、口には出せませんが相当辛かったと思います。パソコンも会計事務をやっていたので、そこそこ使える筈ですが、左手人差し指だけのタイピングは、若ければともかく80歳にして習熟するのは難しいようでした。

園芸が趣味で結婚当時はバラやさつきに凝っていましたが、マンションに移ってからはゼラニウム

を育て、いつも見事に咲き誇って近所でも有名でした。

弘子とは半世紀以上一緒にいるわけですから、旅行など（国内、アメリカ、ドイツ、スイス、フランス、イタリア、タイ、シンガポール、ハワイ）楽しい思い出がたくさんあります。

弘子が亡くなり私は日常生活で妻への依存度が人一倍強かったことを実感しています。

姪からのメールの一部を紹介させていただきます。

美人で、心配りがあって、達筆で、話しが面白くて、一緒にいると楽しくて…。あんなに素敵な女性はそうそう居ません

（チョットほめ過ぎですが供養だと思ってかんべんしてください）

弘子の友人からも「頭が良くて、話が面白い」と良く言われました。私は23歳で出会い、3年後に結婚しました。54年の付き合いになります。確かに頭が良くて何でもこなしますので、家のことは全てお任せでした。何を見ても弘子のが思い出され弘子への強烈な思慕は消えません。

一方、私の人生で弘子と結婚できたことが一番の幸せでした。

いまだ立ち直れませんが、そのようなことを弘子が望む筈もなく、また平均寿命までは生きられませんでした。80歳7か月生きたわけですから感謝しなければいけないと思っています。

【じゃお県央

県央定例そば打ち再開

2020年3月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断していました県央主催の定例そば打ちを7月30日に再開いたしました。

当日は2回目のワクチン接種を終えた5名が参加して、海老名市国分コミセンの多目的室にて、換気・マスク着用を守り・密を避け、新型コロナウイルス感染に注意しながらそば打ちを行いました。約1年4ヶ月ぶりのそば打ちと名人2名の脱退で心配していましたが練り・延ばしをしているうちに腕・勘とも戻ってきたようです。



今回は、二八そば2kgを5名で打ちました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためコミセン館内での試食は出来ない為、各々家に持ち帰り家族で出来栄を楽しむことにしました。

我が家の評価は、切り幅、長さがバラバラで見た目がよくないと言いながら全て食べました。皆様方の家庭での評価はどうでしたか？

新型コロナウイルス感染者が急に拡大して収まりが見えてきません 各自が安全対策「うつらない」・「うつさない」に十分に気を付けて行動することが重要です。

（県央 福山 信二 記・大場 幸雄 写真）